



# 平和への想いの大きさを感じた

長崎

## 原水爆禁止世界大会

### 長崎原水爆禁止世界大会に

#### 参加して

開催の舞台は長崎市民体育館でした。キャパシティは1階席、2階席あわせて3000席ほどでしょうか。そのほとんどが埋まっており、平和への想いを胸にした仲間たちがこんなにも集まったのだと息を呑むと同時に、自分の中でのこの世界大会への真剣さが、長崎へ来る前とは打って変わったことを自覚しました。真夏の蒸し暑さに負けないほどの熱気を全身に浴びながら、世界大会は開幕しました。

ロシア軍のウクライナ

#### 現地での学びや感想が語られた報告会

原水禁世界大会参加報告会が8月31日にみみはらホールで開催され、田端理事長をはじめ42人の参加となりました。

今年の世界大会は8月7日・8日の2日間、長崎を会場に開催されました。ロシアによるウクライナ侵略が長期化するなど核兵器使用の脅威が高まる世界情勢の中で、大きな意味を持つ大会となりました。

大会概要報告の後、参加者5グループからそれぞれ報告がされました。報告では、「現地をおとずれ、被爆当事者の生の声を聞く中で当時の被害の大きさを実感した」、「放射線による後遺症や差別など、今も続く被爆者の苦しみを知った。署名をひろげた

い」、「核の被害や平和の大切さを自分たちが未来に継承していかなければならないと強く感じた」など、現地での学びや感想が語られました。

田端理事長からは、「今回の経験を糧に職場の仲間とともに学び、行動してほしい」との期待が語られ、核兵器廃絶に向けた運動をさらに盛り上げようとの決意を固め

あう報告会となりました。

(耳原総合病院 研修医 調子 達郎)

### 3年ぶり 平和のつどい開催

8月26日午後には歯科診療所では3年ぶりの「平和のつどいwith院所利用委員さん」を開催しました。歯科職員30人、本部職員2人、院所利用委員3人の計35人の参加でした。

橋本所長からの開催あいさつのもと、2022年度ピースセミナーに参加した歯科技工士の東さんより沖繩平和ツアーでの体験、歯科衛生士の小柳さんからは8月7日・8日に長崎で行われた原水禁世界大会に参加した報告がありました。

小柳さんは、全日本民医連青年歯科医師会議主催の長崎平和公園フイー

ルドワークについての職場学習会に参加していたため、さらに学びが深まり、話を聞くだけでなく「実際に行って良かった」、「行ったことのない方もぜひ現地に行ってみよう」と、感想を述べました。その後、90歳になる院所利用委員さんから戦争体験を聞かせてもらいました。日々の業務から少し離れ、職員みんなが平和について考えることの大切さを改めて実感しました。今後も毎年続けていきたいです。

(歯科診療所事務長 三宅 麻記)

### 二胡演奏で心地よい時間を

7月27日、耳原総合病院に二胡の音色が響き渡りました。二胡は中国の伝統楽器で、千年以上前に中央アジアの遊牧民族によって伝わり、その柔らかく深みのある音色は女性の歌声にも例えられています。演奏は、堺中央キリスト教会の二胡同好会から久山庸子氏率いる5人にお願いまし

た。 エントランスと13階病棟で、それぞれ30分ずつ



演奏いただき、エントランスでは送迎バスを待つ

方や、子どもさんを連れてたお母さんが生音に誘われて、フラッと聴かれていました。また吹き抜けから2階にも音が流れていき、数名の職員や理学療法士とリハビリ中の患者さ



んも車椅子で聞いていらつしやいました。小さなイベントでしたが、入院生活に彩りを添えられたような気がします。

13階病棟では演奏が始まると、5、6人の患者さんがゆっくり歩いて来られ、用意した椅子に座られ、音に身を任せて足踏みや手拍子をされていました。楽曲が終わるごとに拍手が起こり、二胡の力強い音色で、久しぶりに病棟が活気づいた時間となりました。

(耳原アートセクション 衛藤 桃子)

### 堺平和のための戦争展2023

#### 731部隊の展示で参加



8月5日・6日、サンズワア堺にて「堺平和のための戦争展」が開催されました。不発弾の事故で両目両手を失っても、世界史の教師として活躍された藤野高明さんのお話、高校生による人形劇や大前弁護士による「空襲被害と日本政府の責任」

のお話。各ブースでは展示・体験・交流のコーナーが設けられ、2日間で約800人の参加がありました。同仁会も731部隊のパネルを展示。空襲や原爆の日本の被害とともに日本が国をあげて朝鮮半島や中国で行ったことを知り、戦争しない、巻き込まれない、流されないことにつなげたい、平和への決意を訴えました。

(組織部 亀井 明子)